

## 整備事業評価書

(都道府県名:長崎県)

政策目的	事業実施地区数ア	評価対象外地区数イ	評価対象地区数ア-イ	成果目標の平均達成率	評価対象地区数のうち、都道府県が事業実施主体へ改善指導を必要とした地区数	地方農政局等から都道府県計画の改善指導の必要の有無	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
産地競争力の強化	3	0	3	33.3%	3	有	<p>本県において、本年度の事業評価の対象となったのは3地区であり、成果目標は達成率33.3%で目標未達成となった。</p> <p>内訳をみると2つある成果目標を両方ともに達成した地区は0地区、片方のみ達成した地区は2地区、両方共に未達成であった地区は1地区であった。</p> <p>成果目標が未達成となった地区の要因等は、気象条件や病害などの要因により収量低下、新型コロナウイルス感染症の影響による出荷制限であった。</p> <p>なお、成果目標が未達成の事業実施主体については、生産量を確保するとともに品質を向上するために、県、市、農協等の関係機関が連携して栽培技術支援を行い目標達成に向けた取組みを推進していく。</p>	<p>県の成果目標平均達成率は、国が達成と判断する90%に対し、33.3%であり、目標は達成されていない。このため、農政局から県に対し、成果目標の達成に向け、要因の分析及び改善措置の提出を求めるとともに、未達成地区に対しては、県担当者による指導を行うなど、県による主体的な取組を指導する。なお、長崎県が改善指導を必要とした地区(達成率100%未満)については、以下の3地区である。</p> <p>&lt;参考:成果目標未達成地区の概要&gt;</p> <p><b>【野菜】1地区</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「秀品割合の増加」及び「ブランド野菜割合の増加」を目標に、トマトの低コスト耐候性ハウスを整備した1地区について、8月の大雨による肥料の流亡と日照不足により苗の生育が十分でなく、株の充実不足や高温による早熟れ、2番果房の花芽分化遅れによる出荷の谷等により収量が低減し、いずれの成果目標も未達成となった。</li> </ul> <p><b>【花き】2地区</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「10a当たりの収量の増加」及び「湿式低温流通の割合の増加」を目標に、花き(草花類:トルコギキョウ、金魚草)の低コスト耐候性ハウスを整備した1地区について、「湿式低温流通の割合の増加」目標は達成したものの、難防除病害の立枯病が発生し、土壌還元消毒等の対策を行ってきたが、収量が減少し「10a当たりの収量の増加」目標は未達成となった。</li> <li>・「10a当たりの収量の増加」及び「契約取引の割合の増加」を目標に、花き(きく)の低コスト耐候性ハウスを整備した1地区について、「契約取引の割合の増加」目標は達成したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、葬儀需要の大きいキクは、大きな影響を受け、特に単価の暴落した下位等級品は廃棄する等の出荷制限を行う事態に陥り、出荷本数が減少し、「10a当たりの収量の増加」目標は未達成となった。</li> </ul>

(注)1.「成果目標の平均達成率」欄は、要綱別紙様式5に記載された率について確認の上、転記する。

2.「都道府県による総合所見」欄は要綱別紙様式5に記載された内容を確認の上、転記する。